

第382回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成19年4月27日(金) 10:00~11:15

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>西郷和彦 <副委員長>廣瀬久和 <委員>大江和彦、山田一郎、藤原克己、柴橋博資、長澤寛道、小幡道昭、兵頭俊夫(代)、根本 彰、新井洋由、斎藤 毅、馳澤盛一郎、谷川智洋(代)、田中秀幸、三宅健介、佐藤比呂志、池本幸生、平島健司(代)、畑中研一、久留島典子、佐藤 純(代)、川崎雅裕、金道浩一、木暮一啓、堀 浩一
(代)は代理出席者
<オブザーバー>石井洋二郎、三谷啓志、武川正吾

列席者 星野雅英、栃谷泰文、関川雅彦、藏野由美子、市村櫻子、中井雪子、森 啓介、山本和雄、合田美恵子、風巻利夫、高嶋秀介、前田哲男、吉田左貴子、石川一樹、本多 玄、飯塚亜子、藤田英子

配布資料

1. 第381回図書行政商議会議事要旨
2. 駒場図書館長・柏図書館長の委嘱推薦名簿(案)
3. 附属図書館運営委員会の構成について
4. 「附属図書館運営委員会」の委員選出キャンパス部会枠(案)
5. 特別委員会委員名簿(附属図書館サービス特別委員会)(案)
6. 附属図書館研究開発室室員名簿(案)
- 7-1. 総合図書館のGoogle Books Library Project / パイロットプロジェクトへの参加について(館長提案)
- 7-2. 平成18年度第5回附属図書館運営委員会での各委員の意見
- 7-3. 各委員の意見に対する館長の理解
- 7-4. 第381回図書行政商議会で追加配付した資料(委員の意見)
- 7-5. 第381回図書行政商議会后に各委員から寄せられた意見
8. 全学学生のための学習用図書経費の恒常的予算化について
9. 柏図書館自動化書庫(写真)
10. 平成19年度 図書行政商議会開催予定(案)
11. 図書行政商議会委員名簿(19年4月1日現在)

<開 会>

- ・西郷委員長の主宰のもとに開会、併せて附属図書館長再任の挨拶があった。
- ・交代委員の自己紹介及び代理出席者の紹介があった。
- ・4月1日異動の部課長の自己紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

西郷委員長から、第381回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 駒場図書館長及び柏図書館長について

西郷委員長から、資料2のとおり、総長へ委嘱の推薦をしたい旨発言がありました。

(2) 附属図書館運営委員会委員の選出について

西郷委員長から前委員の任期が2年で切れたため新委員を選出する。ただし、現商議会委員の任期が20年3月末のため、今回選出される委員の任期も20年3月末となる。そこで、商議会での選出枠、本郷キャンパス、駒場キャンパス及び柏キャンパス各部会から委員を選出したい旨発言があり、各部会に別れ、部会ごとに以下の者が選出され了承された。

本郷キャンパス部会	人社系研究科	根本 彰教授	(教育学研究科)
	自然系研究科	山田一郎教授	(工学系研究科)
	人社系研究所	加瀬和俊教授	(社会科学研究所)
	自然系研究所	多羽田哲也教授	(分子細胞生物学研究所)
駒場キャンパス部会		鹿児島誠一教授	(総合文化研究科)
		堀 浩一教授	(先端科学技術研究センター)
柏キャンパス部会		金道浩一教授	(物性研究所)

(3) 附属図書館サービス特別委員会委員の選出について

西郷委員長から、図書行政商議会の委員の交代に伴い欠員が生じたため、委員長推薦により、資料5のとおり前委員所属部局の後任の委員をお願いしたい旨発言があり、案のとおり了承された。

(4) 附属図書館研究開発室員の推薦について

西郷委員長から、資料6の方々を研究開発室員に推薦したい旨発言があり、案のとおり了承された。

(5) G社のプロジェクトへの参加に関する協議の開始について

西郷委員長から、前図書行政商議会で各委員の意見を取りまとめて次期館長へ申し送りすることとしたが、再任されたことを受け、このことについては非常に重要な問題でもあることから、まず、新しいメンバーの加わった附属図書館運営委員会で議論したい旨発言がありました。図書行政商議会は年4回しかないの、何かご意見があれば当職にいただくか、キャンパス部会からお選びいただいた運営委員の先生方にご意見をおよせいただきたい旨発言があった。

(6) 全学学生のための学生用図書経費の恒常的予算化について

西郷委員長から、学生用図書経費については、3年前から、総長裁量経費によって学習用図書の充実を図ってきた。しかし、毎年総長裁量経費を要求するという非常に不安定な状況に置かれている。昨年度、恒常的な予算化の要望書を担当理事に出したが、残念なことに認められなかった。そこであらためて、恒常的に学習用図書経費を確保するために、全学的な合意に基づく形で新規教育研究事業(全学協力経費)を要求したい旨発言があった。

意見交換では、次のような意見がだされた。

・今伺ったところによると、全国の他の大学、それから例えば公立図書館、都道府県立図書館での図書費と比べてもこちらの方が少ないし、東京大学の特に3つ[総合図書館、駒場図書館、柏図書館]の中心的図書館で合わせてこれしか無いということは、非常に寂しい話であって、是非全学的に確

保することをお願いしたい。

・駒場図書館の関係者として是非お願いしたいのは、駒場の学生は全学からお預かりしている学生であり、本郷の先生方も総合図書館と駒場図書館が同じ重みで重要であるということをご理解いただきたい。

・学生用図書経費が3図書館費用ということになっているが、学部図書館も学生用図書は積極的に買っており、それとの関係はどのようになるのか。

・私の学部図書館の学生用図書予算は恒常的には0円である。いろいろな予算から集めて毎年500万円位を融通している。毎年部局に恒常的な予算をお願いしているが、認められない。

・部局でやってきたことにもご配慮いただきたい。3図書館が拠点だからといってそこに集中するのではなく、実態を見ていただいてご検討いただきたい。

・学習用図書については、どこの部局でもやっているところがあるので、平等な形で共通に予算化していくという方向でやっていただきたい。

西郷委員長から、総合図書館が要望書を作成するので、各部局で賛同者ということでご署名いただくということができれば大変ありがたい。各部局での学習用図書の現状も把握し、一つの方向を考えたい。賛同を募る書面は9月か10月頃をお願いする。各部局の要求に影響を与えないように、ご賛同を集めて総合図書館が出すということにしたい旨発言があり了承された。

3. 報告事項

(1) 柏図書館自動化書庫第 期工事の完了について

栃谷総務課長から、柏図書館自動化書庫第 期工事が3月に完了したことの報告がされた。

西郷委員長から、柏の自動化書庫が自然系図書のバックナンバーセンターになっていることに対して数年前から、人社系の先生方から人社系の書籍、雑誌も置いてほしいという話を沢山いただいている。総合図書館ではメディアユニオン計画を持っており、西側の中庭にはITの端末を置き学術、書籍にITを使ってアクセスが出来る場所、東側の中庭には、100万冊分の自動化書庫を設置して、人社系の図書のバックナンバーセンターにしたい。これについては約20億円程度の経費を要するが、2期目の2年間の間にその方向性が見えてくれば良いと思っているとの発言があった。

4. その他

(1) 平成18年度図書行政商議会開催日程(案)について

西郷委員長から、本年度の図書行政商議회를資料10のとおり定例で開催したい旨発言があり了承された。なお、19年11月30日(金)については、変更する可能性がある旨発言があった。

(2) 「大学院博士課程修了生の課程博士論文作成期間の利用」について総合文化研究科委員代理より検討願えないか発言があった。

西郷委員長より、事務方で現状等について検討し、対応したい旨発言があり了承された。

閉 会